



“保護者アンケート” ありがとうございます!

※単位はすべて%です。

評価項目	A	B	C	D	E
①学校での様子をよく知ることができる。	14.3	56.3	22.2	2.4	4.8
②学校と家庭をつなぐ機会（授業参観・懇談会、三者懇談会等）は、有意義であったと感じる。	13.5	67.5	15.9	0.8	2.3
③学校行事は、子どもたちの成長につながる教育活動であったと感じる。	27.8	61.1	7.1	0.8	3.2
④学校は、学力をつけるために一人一人を大切にされたきめ細かな授業をしていると感じる。	11.9	50.8	23.8	7.9	5.6
⑤わが子は、学校へ行くことや学校生活を楽しいと感じている。	31.7	50.0	12.7	3.2	2.4
⑥学校の先生は、子どもたちの理解に努め、気軽に相談に応じていると感じる。	19.8	56.3	15.9	4.0	4.0
⑦学校の施設、設備などの学習環境は整っていると感じる。	11.1	65.9	15.1	2.4	5.5
⑧学校は、地域の意見・要望や保護者の意見・要望に誠実に対応していると感じる。	14.3	57.9	16.7	1.6	9.5
⑨学校は、「地域を支える学校」をめざして、地域と連携をした教育活動を進めていると感じる。	26.2	63.5	6.3	0	4.0
⑩資源回収等PTA活動に、積極的に参加したり、協力したりできる雰囲気がある。	24.6	63.5	7.1	1.6	3.2

A：十分満足できる、とてもよい

B：おおむね満足できる、よかった

C：いまひとつである、あまりあてはまらない

D：改善する必要がある、全くあてはまらない

E：よく分からない

【考察】

○保護者から特に評価していただき、お認めいただいている項目は、④「学校は、学力をつけるために一人一人を大切にされたきめ細かな授業をしていると感じる。」でした。A評価が昨年より6.2ポイント上昇しました。また、⑨「学校は地域を支える学校をめざして、地域と連携をした教育活動を進めていると感じる。」が昨年度同様に高く、AとBを合わせると95%を超えます。

○上記の2項目以外で、AとBの両方を合わせると8割を超える項目は、②「学校と家庭をつなぐ機会（授業参観・懇談会、三者懇談会等）は有意義であったと感じる。」（81.0%）、③「学校行事は、子どもたちの成長につながる教育活動であったと感じる。」（88.9%）、⑤「わが子は、学校へ行くことや学校生活を楽しいと感じている。」（81.7%）、⑩「資源回収等PTA活動に、積極的に参加したり、協力したりできる雰囲気がある。」（88.1%）でした。

今年度、11月に教育委員会指定の研究発表会を行いました。それに向けて、学力向上に向けての指導改善プランに取り組み、家庭学習についても「つなぎ学習」「定着学習」と内容をより明確にして指導しました。その成果を認めていただけたと考えます。また、大運動会や地域での夏祭りや清掃活動など地域と連携して取り組んでいる様々な行事や活動において、ボランティアとして企画や当日の運営に積極的に取り組む生徒の姿が、保護者の方にも満足していただけたことが分かりました。

これらの認めていただけたよい姿を今後も本校の伝統として大切にしていきたいと思っております。

- ▲本校が保護者の皆様の信託に応えるためにいちばん努力すべき項目は、⑤「わが子は、学校へ行くことや学校生活を楽しいと感じている。」（AとBの両方を合わせると7ポイント減）、⑥「学校の先生は、子どもたちの理解に努め、気軽に相談に応じてくれていると感じる。」（Eが1.5ポイント増）となりました。
- ▲CとDを合わせると2割以上3割未満となる項目は、①「学校の様子をよく知ることができる。」（24.6%）、④「学校は、学力をつけるために一人一人を大切にしたいきめ細かな授業をしていると感じる。」（31.7%）でした。しかし、いずれも昨年度よりは評価ポイントは改善されています。

今年度は、10項目中7項目が昨年度よりAとBを合わせた評価が下がっています。保護者の皆様から厳しい評価をいただいたと受け止めています。

その中でも、昨年度A・Bが合わせて90%以上の高評価をいただいていた⑤「わが子は、学校へ行くことや学校生活を楽しいと感じている。」の項目が大幅に下がったことは大きな問題と捉えます。学校でいちばん大切にしなければならない「学校の安心・安全」について、保護者の方から改善・向上を求められているというアンケート結果となりました。校内では「いじめアンケート」「生活充実アンケート」等を実施し、生徒の不安や悩みをつかむよう努めていますが、⑥学校の先生は、子どもたちの理解に努め、気軽に相談に応じてくれていると感じる。」のE評価の増加から、その対応が不十分であったとのご指摘と考えます。

また、④「学校は、学力をつけるために一人一人を大切にしたいきめ細かな授業をしていると感じる。」の項目は、昨年度より評価いただいたものの、全体の評価はやはり低く、生徒一人一人に応じた指導体制や指導方法をさらに工夫・改善し、子どもたちに学力をつけていけるように努めていきます。

【保護者のご意見から】

▲課題としてご指摘いただいた内容 ※ここでは複数いただいたご意見を掲載させていただきます。

《補習・夏休みの講座について》

- ・補習を取り入れてほしい。夏休みの講座は希望で補習授業のような形で行ってほしい。

→ 昨年度も同様のご意見をいただきました。『夏休み学力向上講座』については、「これだけができるようになってほしい」という基礎基本の定着を必要とする生徒を対象としていますので、その趣旨を踏まえ、できる限り少人数で指導できる体制で行うことの必要性をご理解ください。講座の内容は検討し、一層の充実をさせています。

しかし、来年度からは、これらの要望も踏まえて、基礎・基本の定着を図るための朝の時間を使った小テストの実施を検討しています。長期休暇のみの補習ではなく、日常的に身につけなければならない力の定着を図る取り組みになるよう、準備を進めています。

《生徒理解・教育相談について》

- ・「先生に相談するのも面倒くさい」というのが本音だと思う。先生だけでなく、大人に対して面倒くさいという子が多いので大事にならなければいいが。いじめなどは他県や他校の話ではないように思う。

→ 十分生徒の言い分を聞き取ること、それをもとに納得できるよう解決に取り組むことが不十分だったことが、「相談が面倒」という生徒の意識につながったと考えます。

県や市が行っている「いじめアンケート」だけでなく、本校は「生活充実アンケート」を実施し、生徒の不安や心配事をつかむよう努めてきました。今後はそれだけでなく、学級担任に限らず生徒が相談しやすい教職員に話せる機会を増やしたり、学年やそれ以外の教職員とも連携して相談内容への対応にあたる組織の充実を図ったりしていきます。ほほえみ相談員やスクールカウンセラーとの面談も気軽に行えるよう、保護者の方へのご案内を工夫していきます。